

西鶴一代女 (1952)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 137分

初公開日 1952/04/17

【解説】

井原西鶴の『好色一代女』を、依田義賢が脚色し溝口健二が監督した文芸作品。お得意の長回しや流麗なカメラワーク、そして田中絹代の熱演などが、ヴェネチア国際映画祭での受賞につながった。

奈良の荒れ寺に集まる街娼たち。年老いたお春は羅漢堂に入り、過去に出会った男の面影を思い浮かべていた。御所勤めをしていた13歳のお春は、公卿の勝之介に宿に連れ込まれたところを見つかり、両親ともども洛外へ追放となってしまった。その後、松平家に取り立てられ嗣子をもうけたものの、側近の裏切りに遭い実家へ帰されてしまう。島原の郭に売られたお春は、気に入られた客の住み込み女中となるが、その妻に嫉妬され追い出されてしまった。さらに結婚相手が急死し、世話になった男の盗みが発覚して捕らえられるなど、流転の人生を歩むのだった。

【クレジット】

監督 溝口健二

監修 吉井勇

製作 児井英生

構成 溝口健二

原作 井原西鶴

「好色一代女」

脚本 依田義賢

撮影 平野好美

美術 水谷浩

編集 後藤敏男

振付 井上八千代

音楽 斎藤一郎

特殊技術 新東宝特殊技術部

助監督 内川清一郎

出演 田中絹代

お春

山根寿子

奥方

三船敏郎

Toshiro Mifune

勝之介

宇野重吉

扇屋弥吉

菅井一郎

お春の父新左衛門

進藤英太郎

笹屋嘉兵衛

大泉滉

笹屋番頭文吉

清水将夫

菊小路

加東大介

菱屋太三郎

小川虎之助

磯部弥太衛門

柳永二郎

田舎大尽

浜田百合子
市川春代
原駒子
毛利菊枝
沢村貞子
近衛敏明
荒木忍
上代勇吉
高松錦之助
水野浩
志賀迺家弁慶
坂内永三郎
玉島愛造
石原須磨男
横山運平
出雲八重子
平井岐代子
金剛麗子
草島競子
津路清子
国友和歌子
衣笠淳子
林喜美枝
大和久乃
松浦築枝

お局吉岡
侍女岩橋
お局葛井
老尼妙海
笹屋女房お和佐
松平晴隆
重役真鍋金右衛門
重役田代甚左衛門
丸屋主人七左衛門
用人篠崎久門
笹屋の大番頭治平
所司代役人
老人
丸屋の番頭
貸衣装屋
お熊
お杉
お仙
侍女袖垣
中宿のおかみ
扇屋の客
女乞食
丸屋の仲居おまん
丸屋の仲居おたま
お春の母とも

特別出演 文楽座三ツ和会